

令和4年度 福岡美容専門学校 福岡校

学校自己評価 報告書

(自令和4年4月1日 至令和5年3月31日)

福岡美容専門学校 学校自己評価委員

委員長 サロン事業部長 吉野 和子

委員 事務局次長 小田 亮介

広報室長 前原 洋史

教務企画課長 増田 葉子

教務課長 小山 隆史

令和4年度 福岡美容専門学校 福岡校 自己評価結果

【評価 適切・4 ほぼ適切・3 やや不適切・2 不適切・1】

1. 教育理念 目標

評価項目	自己評価
A、学校の理念・教育方針・人材育成像は定められているか	4
B、学校の目指す職業教育の特色が理解され、指導に活かされているか	4
C、社会のニーズを的確に捉え、学校の将来構想が示されているか	4
D、学校の理念・教育方針・育成人材像・特色・将来構想が学生や保護者に周知されているか	4

本校は、福岡県下 2,700 店舗の美容室が加盟する福岡県美容生活衛生同業組合が設置した組合立の美容学校です。組合立という安定した設置基盤の下に、教育基本法ならびに美容師法に則り、学生の個性に応じた専門教育を施し、次世代の後継者を育成して美容業界に寄与するという崇高な理念を継続して実現するために学校運営を行っています。

令和4年度も、前年度に続いて新型コロナウイルス感染症の感染拡大が継続しました。その中でも本校では工夫を重ね学生へ充実した学びの場を提供できたと自負しています。

福岡市中央区大手門に完成した 3 号館を使用する事で余裕のある空間が確保出来、施設の充実だけでなく密集回避の教育も可能になりました。

A,Bについては明確に定め、全職員に周知徹底を図っています。

C、については毎年授業計画を立てる際に最新の技術をどのように本校の授業に取り入れられるかを検討しています。学生全体が受ける授業や受講科目を選択する選択授業で最終的に学生は新しい技術に触れる事になります。本校は学校であると同時に職業訓練の場でもありますので常に業界で求められている人材育成と、技術や知識を伝達する事を心掛けています。

D、について、昨年度まではコロナ禍にあって例年実施している外部会場を使用していた大型イベントを自粛していましたが、今年度はこれを再開し、福岡校/北九州校合同での実施を実現しました。そして保護者にもご観覧いただき、学習成果を確認していただくことが出来ました。

2. 学校運営

評価項目	自己評価
A、教育方針・目標に沿った運営方針が策定されているか	4
B、運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
C、運営組織や意思決定機能は明確で有効に機能しているか	4
D、教職員の人事、給与に関する規定は明確に、正當に整備されているか	4
E、教務、財務などの組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
F、教育活動などに関する情報公開は適切になされているか	3

G、情報システム化等による業務の効率化や省力化が図られているか	4
---------------------------------	---

A、については「1、教育理念 目標」にあるとおり明確な理念に基づき学校運営を行っています。

B、についても A に沿った年間、中期、長期の事業計画を立案し、それをもとに学校運営を行っています。

C、校長を頂点とした管理職が随時意思決定を行っています。

D、については職員就業規則や諸規定に沿って明確に実施しています。

E、についても C と同様に明確に定め、機能しています。

F、については平成 31 年度より本校のウェブサイトにて公開しており、より多くの志願者や保護者、業界関係者に本校の実情をご理解いただけていると考えています。

G、について、本校のネットワークシステムは大変秀逸で、教職員は全職員に各一台ずつ貸与されたパソコンを使用し、このネットワークを活用することで情報の共有と連携を行い、各校舎はネットワークで連携しており常に教職員は情報の共有が出来ています。

3、教育活動

評価項目	自己評価
A、教育理念・教育方針・目標に沿った教育課程の編成、実施方策などが作成されているか	4
B、育成人材像や業界のニーズを踏まえて、修業年限に応じた教育の到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
C、実習・学科などのカリキュラムは体系的に編成され、学習指導方法の工夫や研究などが職業訓練という視点で行われているか	4
D、美容業界との連携によるカリキュラムの作成やその定期的な見直しが行われているか	4
E、美容業界と連携して、実践的な職業教育を目的とした実務実習（インターンシップ）が行われているか	4
F、授業評価を行うため、研究授業等の評価体制は適切に実施されているか	3
G、職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
H、成績評価・単位認定、進級・卒業認定の基準は明確か	4
I、人材育成の要件を備えた教員が、教育目標に沿って確保されているか	4
J、美容分野における先端技術・知識を習得するための研修や教員の指導力の向上のための取り組みが行われているか	4
K、職員の能力開発のための研修が行われているか	3
L、効率良い授業のための可視化授業等 ICT への取り組みは出来ているか	3
M、ICT 授業のための教職員のスキルアップのための研修等は実施しているか	3

A,B,C については十分に検討の上実施しています。在学期間に達成する最終目標を定め、教員はその目標に合わせて学生を指導しています。

D,については毎年カリキュラムの見直しを行っています。その一環として令和 2 年度より「選択授業」(3 単位)を導入しました。学生は将来の進路に合わせて自分が身につけるべき技術を選ぶことが出来、学生に対して実施しているアンケートではその満足度も非常に高く、今後もこれを継続、内容をさらに充実させていくこ

とにしています。

E,については本校のカリキュラムの中で実施している「実務実習」がその役を担っています。学生が職業に対する理解を深める上で大きな原動力となっていると共に就職活動の布石として自分に適した就職先を探る上での一助となっています。

F,については定期的に授業研究を行い他教員からのアドバイスをを行うなど、教員の質の向上に資しています。

G,については福岡県美容組合理事によって組織されている学校管理委員会に定期的に学校運営についての報告を行うとともに意見を頂戴し、運営に有効に活かしています。

H,については大変明確に学則に定めており、学生の成績認定を行っています。

I,については本校の教職員は完全雇用のいわゆる常勤職員を基礎としているため本校の理念や教育方針が十分に浸透、理解された上で教育に当たっています。

J,Kについては教育の質の向上のため全力で取り組んでいる事項です。着付け、ネイル、まつ毛エクステンション等美容の幅広い分野の研修を職員は受講しています。また、現役の美容師である外部講師を招聘しての技術研修等は着実に成果を上げ、学生への授業に反映しています。

また、令和4年度はICT授業の充実にも取り組みました。実技技術を指導するための映像マニュアルの作成や、プロジェクターやモニターを使用し、視覚的に伝える授業方法を確立する事が主たるものです。これにより学生の習熟度は大きく向上いたしました。令和5年度はさらなる充実を図ります。

L,Mについては、本校では令和2年度以降特に注力している分野です。

本来わかりやすく伝わりやすい授業の実現のためにプロジェクターなどを活用していましたが、コロナ禍でオンライン授業を実施する際にもこのノウハウを十分に活かすことが出来ました。

職員はこのための委員会を作り、コンテンツの充実を図ると共に教職員への講習会等を行っています。

4、学習成果

評価項目	自己評価
A、就職率の向上はなされているか	4
B、美容師資格の取得（国家試験合格）はなされているか	4
C、その他美容関連の資格取得はなされているか	4
D、資格取得に対する指導や支援が行われているか	4
E、退学率の低下が図られているか	4
F、卒業生・在校生の社会的な活躍、評価を把握しているか	3

A,については資料①のとおり本校の就職率は非常に高いレベルにあります。新型コロナウイルス感染症の大流行以降学生の就職先の確保と就職率の低下が懸念されましたが、オンラインでの就職説明会や面接を数多く実施しました。そしてそれに対応した指導をオンラインでも行っています。

B,については非常に高いレベルにあるといえます。美容学校に入学する学生は美容師資格を取得することを大きな目的としており、現在ではどの美容学校でも90%台後半の合格率を達成することが当たり前となっています。本校でも令和4年度は97.6%と全国平均を大きく上回る結果でしたが、これは美容学校が学生にするべき最低限の指導と受け止めており、次年度は全員の合格を目指します。

C,Dについてはマナー検定、着付け検定、ネイル検定、メイク検定、エステ検定などを本校では実施しています。こうした資格の取得は卒業後の進路選択にも大きくかかわるため合格レベルに達していない学生には

放課後等授業時間以外にも教員による指導を行っており、資格取得のための支援を行っています。結果、いずれの資格も合格率は例年高いレベルにあります。

E,については担任と副担任の各クラス2名の指導体制に加えて教務課長、部長、広報職員などもケースに応じて面談を行い、問題を抱えた学生の早期発見とカウンセリングで退学率を低いレベルに保つことが出来ています。

F,については本校の同窓会組織が整備され、東京等遠隔地においての本校出身者の動向も良く伝わるようになりましたが、残念ながら令和4年度も令和3年度に続いてこのような会を催すことは自粛いたしました。卒業生とのコミュニケーションのためにも令和5年度は再開する計画を立てています。

入学者数と退学率、就職率、国家試験合格率 資料①										
入学年度	入学者数	卒業生数	退学数	退学率	休学数	就職者数	就職率	国家試験 受験者数	合格者数	合格率
H30年度生	274名	260名	14名	5.11%		243名	93.5%	260名	255名	98.08%
H31年度生	318名	291名	27名	8.49%		267名	92.1%	291名	285名	97.93%
R2年度生	320名	292名	27名	8.44%		270名	97.3%	292名	291名	99.65%
R3年度生	317名	296名	21名	6.62%		277名	93.5%	296名	289名	97.63%
R4年度生	320名									

5、学生支援

評価項目	自己評価
A、進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
B、学生相談に関する体制は整備されているか	4
C、学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
D、学生の健康管理の支援体制は整備されているか	4
E、課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
F、学生の生活環境への支援体制はあるか	4
G、保護者と適切に連携しているか	4
H、卒業への支援体制はあるか	4
I、社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか 高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4
J、高校との連携による教育・職業教育の取り組みが行われているか	4

A,について、本校では就職指導を担当、副担任、総担任、学年主任といった学年団の複数人員で行っており、その指導を就職課が行っていました。令和4年度よりサロン事業部が立ち上がり、就職先の開拓や進路指導だけでなく学生への就職指導も担っています。

B,について A と同じく学年団の複数の教員に加えて教務主任、教務課長、教務部長、教頭が学生の相談にあたっています。

C,については入学時の美容組合奨励金制度や、特待生制度、卒業時の優秀学生表彰報奨金、家族に本校卒業者がいる場合に適用される家族割制度などが主たるものです。令和4年度は、入学者に対して10万円の学費支援を行いました。これはコロナ禍にあつて保護者の経済的な困窮が懸念されたため、各家庭の経済的負担を低減できたと思います。

D,については年に1回実施している健康診断、校医の設置などで学生の健康維持に配慮をしています。

令和4年度はコロナ禍でも教育活動を継続し、学生の健康管理と体調把握については特段の注意を払って来ました。具体的には①学校玄関にサーマルカメラを設置 ②全クラスで担任が学生を検温し、記録 ③館内各所と全教室に消毒液(エタノール)を設置し、手指の消毒、館内の消毒・清掃を励行しました。

E,についてはオープンキャンパス(体験入学)に参加する学生への技術やマナーの指導、フォトの作品作りに興味を持つ学生などに対して放課後の指導を行い、活動の場を提供しています。

F,については、学生の経済事情や食生活についての理解を深め、より早い段階でのアドバイスが出来るよう学生からの情報収集と面談に注力をしました。

G,について、本校では一律に保護者に対して伝達をする事項についてはインターネットのツールを使用して適時に速やかに伝達を行っています。各種保護者観覧型イベントの開催等はこの方法で伝達をするため保護者への周知が容易に行えています。

H,について、成績不良の学生については放課後に十分な指導を行った上で追試験を実施しています。また、諸事情により出席日数が不足した学生には補習を実施して単位を認定しています。出来る限りの手を尽くして学生を卒業まで導くよう指導しています。

I,については広報部が中心に、在校生の状況を出身校の先生に連絡するなど緊密な連絡を取っています。また、学生の入学後も高校在籍中の情報を得て学生指導に資するため出身高校とのコミュニケーションを保っています。

J,についても広報部と教員が共同で高校へ出向き、本校の広報活動だけではなく美容業界についての理解を深めるための授業を実施するなどの取り組みをしています。これは美容組合立の学校という本校の責務として捉え、実施しています。

6、教育環境

評価項目	自己評価
A、施設、設備は教育上の必要性に十分対応できるように整備されているか	4
B、海外研修などの実施の体制は整備されているか	-
C、防災に対する体制は整備されているか	4

A,については改修、設備の定期的な入れ替えなどを実施しており、カリキュラムに相応しいものとなっています。令和4年5月には本校3号館が完成し、使用を開始しました。この3号館の完成後はシャンプー授業、メイク授業、着付け等専門性の高い授業がさらに充実されることになりました。B,については毎年2年次に希望学生による海外研修旅行を実施していますが、令和4年度もコロナ禍にあつて実施を見送りました。令和5

年度は再開するべく計画を立てています。

C,防災施設は整っており、防災担当職員が防災計画に則って職員の防火管理者資格の取得や、教職員と学生の防災訓練、避難訓練を年間計画の中に組み入れて実施しています。また、業者による年間2回の消防設備と施設の点検を継続しています。

7、学生募集

評価項目	自己評価
A、学生募集活動は適正に行われているか	4
B、学生募集活動において、本校の理念や募集ポリシーを正確に伝え、誇大宣伝等誤解を与えることの無いよう誠実にしているか	4
C、学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
D、学費は妥当なものとなっているか	4

A,B,C,D 全てにおいて適切かつ正しく実施しています。

入学案内と募集要項は毎年作成しています。令和4年度は年間30回程度の来校型オープンキャンパスを実施しています。

本校はAO入試を実施していません。これは高校在学中に進路選択に時間をかけて多くの選択肢の中からその生徒にとって最良の進路決定をしていただきたいからです。また、美容業界の真実の姿を率直に説明し、待遇、休日、福利厚生、早期離職率等の厳しい現実を隠さずに伝えています。そして、本校には本当に「美容の道に進む覚悟」を持った生徒に来ていただきたいと思っています。

学費については妥当なものと考えます。ここ数年原油価格の上昇、輸入品の価格上昇など教材の確保については大変な努力を続けているのが現実ですが、こうしたコスト高は学生やその保護者に転嫁するのではなく可能な限り企業努力で学校が吸収すべきだと考えています。また、入学後も募集要項に記載されていない追加徴収や教材販売などは一切行っていません。教材については入学時に配布する教材に加え、授業開始時期に合わせて同期配布する教材で全ての授業を受講することができます。選択授業についても同様で、学生は3科目(3単位)の授業を選択しますが、全ての選択授業では、受講に必要な教材を配布しており、学生は新たな負担をすることなく希望する授業を受講することができます。

また、卒業直前に学生が受験する国家試験の受験料(¥25,000・※令和4年度)も全て校納金の中から支出し、このために学生の負担が増えることはありません。

厳しい経済状況に置かれている学生が少なくありません。そして在校生の多くは九州他県から福岡に来て一人暮らしをしています。そんな在校生の経済的負担をどう低減するかが本校の大きなテーマです。

8、財務

評価項目	自己評価
A、中長期的に学校の財務基盤は安定しているか	4
B、予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
C、財務に関する会計監査は適正に行われているか	4
D、財務情報公開の体制整備はできているか	4

A,B,Cについては全て良好です。会計監査についても厳格に行われています。本校の経営状態は大変に良好であると考えます。

また、Dについては本校のウェブサイト上で公開し、本校の健全な経営状態を広く理解していただけているようにしています。

9、法令などの遵守

評価項目	自己評価
A、法令、専門学校設置基準などの遵守と適正な運営がなされているか	4
B、個人情報に対し、その保護のための対策がなされているか	4
C、自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
D、自己評価を公開しているか	4

A,B,Cについてはすべて良好に実施・管理されています。

本校は美容師法、専門学校設置基準に基づいて厳格に運営されています。

教員の配置数や授業実施時間数、単位の取得についても美容師法、美容師養成施設指定規則に則っています。

個人情報の保護や取り扱いについても厳格に管理しています。本校では学生の個人情報の保護を大変重要な事と捉えており、教職員にも折に触れてそのことに理解を深めるよう伝えています。

Dにつきましては、学内に設置した委員会による学校自己評価を本校の設置者である美容組合員や、その理事で構成される学校管理委員に常に報告し、公開して参りましたが、令和 2 年度よりウェブサイト上でも公開し、今後もこれを継続します。

10、社会貢献・地域貢献

評価項目	自己評価
A、学校の教育資源や施設を利用した社会貢献、地域貢献を行っているか	-
B、学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
C、地域に対する公開講座・教育訓練受託などを積極的かつ定期的に行っているか	-

上記項目は令和 4 年度も、継続したコロナ禍にあつて長年学生が行っていた高齢者施設への訪問等を控えました。

そのため令和 4 年度のこの項目の A,C については評価を控えました。ただし、例年年度末に実施している

日本赤十字社の献血や近隣の清掃については本年も実施し、貢献出来たものと思います。

こうした社会貢献やボランティアは在校生にとっても貴重な経験であると本校では推奨していますので、今後も是非継続して実施したいと思います。

11、総合評価

総合的に上記 1 から 10 までの項目を自主点検したところ本校は適正な学校運営を行っている判断と判断します。

本校では毎年 3 月の年度末に全学生に対してアンケートを実施しています。このアンケートの回答を参照して次年度のカリキュラム編成にあたります。

これまでの 3 年間はコロナ禍での教育の質の保持に取り組んで参りました。様々な工夫と努力の結果 ICT 授業の導入で広がる可能性や、オンライン授業で可能な事と困難な事の見極めも出来ました。

本校は人と人が向き合い、手から手へと技術や知識を教える学校です。安全管理と衛生管理を万全に図った上で、学生と向き合い、教育を行いたいと考えています。

本校の教育方針である

『基礎・基本技術を備えた人材の育成』

『礼儀やマナーが備わった人材の育成』

この方針を守りこれからも学生指導にあたります。

本校創立の際に美容組合が掲げた、後継者を育成し、そして良い人材を美容業界に輩出する、という崇高な理念を見失うことなく、常に時代の変化に対応し、社会が求める技術者を育てる事を目標に今後の学校運営に当たりたいと思います。

以上